

花籠祭

菊慈童・花鳥図

石造大日如来坐像



〈旧八頭郡域に伝わる祭〉



〈鳥取ゆかりの絵師片山楊谷の代表作〉



〈珍しい石造の大日如来像〉

# 鳥取県新指定文化財速報展

## 平成24年度

～とっとりの宝物をご紹介します～

平成25年1月23日(水)～3月31日(日)

※休館日：2月4日(月) 常設展の入館料(一般：180円)が必要です。  
大学生以下無料。

期間により展示する文化財が変わります(詳細は裏面をご覧ください)

会場：鳥取県立博物館 1階

歴史・民俗展示室(歴史の窓コーナー)美術展示室

入館時間：午前9時～午後5時

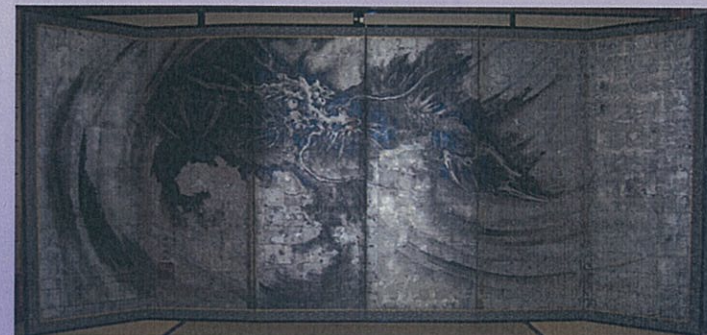


©倉吉市



主催 鳥取県教育委員会

協力 指定文化財所有者の皆様・鳥取市教育委員会・倉吉市教育委員会・八頭町教育委員会・智頭町教育委員会



竹虎図屏風(上) 龍虎図屏風(下)

〈片山楊谷による大作〉



# 《平成24年度 鳥取県新指定文化財速報展 出品リスト》

きくじどう・かちょうず

## ●菊慈童・花鳥図 歴史・民俗展示室（歴史の窓コーナー）

展示期間：平成25年1月30日（水）～3月4日（月）

鳥取ゆかりの絵師として江戸時代後期に活躍した、片山楊谷（1760～1801）の作品。

菊慈童を中幅に、両脇に菊と小鳥を描く花鳥図をそえる三幅対。菊慈童は、不老長寿のシンボルとして人気のある画題であり、本図は楊谷作の菊慈童図のなかでもとりわけ、髪の毛や顔、そして衣服の文様にいたるまで精緻な描写が徹底されており、傑作である。

せきぞうだいにちによらいざぞう

## ●石造大日如来坐像 歴史・民俗展示室（歴史の窓コーナー） H24.11.6指定

展示期間：平成25年1月30日（水）～3月4日（月）

たいぞう

倉吉市大日寺に伝来した胎蔵大日如来坐像で平安時代後期（11～12世紀）の作風を示している。

頭部は、ふくよかな両頬、伏し目がちな両眼が配されており、欠損が多いものの、大分県・臼杵石仏の大日如来像（平安時代後期）頭部に共通する感覚が示されている。全国的にも珍しい平安時代の石造大日如来像としてその価値は高い。

ちっこずびょうぶ

## ●竹虎図屏風 美術展示室 展示期間：平成25年1月23日（水）～2月24日（日）

片山楊谷の作品。勢いよくはねる虎の体毛表現は、驚嘆に値する。鋭い線で描かれた一本、一本の毛の

たいく

長さが非常に長いのが特徴であり、その剛毛の集積で虎の体躯がみごとに形作られている。右隻では竹、左隻では虎の尾が、画面の外に一度出て、ふたたび戻っており、スケールの大きさと躍動感が感じられる。江戸時代後期の画壇をみわたしても、類例のないユニークな虎の絵として注目される。

りゅうこずびょうぶ

## ●龍虎図屏風 美術展示室 展示期間：2月26日（火）～3月31日（日）

片山楊谷の作品。楊谷作例のなかでは珍しい、銀箔を全面に押した総銀地屏風である。銀箔のうえに薄く墨が掃かれているせいか、銀の黒変がさほど認められない。この虎では、毛描きは墨の濃淡だけで行なわれている。白い筋のようにみえている部分は淡墨で引かれた線と線の間わずかな隙間であり、計算して筆がおろされたもの。しなやかな虎の身体の動きが、左隻の渦巻く雲烟のなかの龍と呼応する、楊谷晩年の傑作である。

## 【パネル展示】 歴史・民俗展示室（歴史の窓コーナー）

展示期間：平成25年1月30日（水）～3月4日（月）

はなかがまつり

## ●花籠祭 H24.11.6指定

おくだけじゅうたく

## ●奥田家住宅

### ◇新指定文化財速報展とは◇

新たに鳥取県指定文化財となった文化財を知っていただく展示会です。

### ◇鳥取県指定文化財について◇

絵画や彫刻といった美術工芸品、建造物、庭園や歴史資料、民俗芸能・風俗習慣、史跡や天然記念物など、鳥取県にとってかけがえのない価値を持つものことで、指定は鳥取県教育委員会が行います。

### ◇関連行事（ギャラリートーク）のご案内◇

県立博物館学芸員が、展示している竹虎図屏風及び展示を予定している菊慈童・花鳥図について解説します。

日時：平成25年1月27日（日）  
午後2時～

場所：1階常設展示室

※事前申込不要。



〈 展 示 場 所 〉

【お問い合わせ】 鳥取市東町一丁目271番地 鳥取県教育委員会事務局文化財課

電話：0857-26-7525 ファクシミリ：0857-26-8128 HP：<http://www.pref.tottori.lg.jp/bunkazai>